

議 会 報 告 会 報 告 書

開催日時	平成30年5月22日（火） 18時30分～20時10分		
開催場所	生涯学習センター		
出席議員	<p style="text-align: center;">総務文教委員会</p> <p>委員長 高原 良一</p> <p>委員 浜 秋太郎</p> <p>委員 北野 良介</p>	<p style="text-align: center;">厚生委員会</p> <p>委員長 有元 純一</p> <p>委員 宇野 俊市</p> <p>委員 三宅 宅三</p> <p>委員 藤原 仁子</p>	<p style="text-align: center;">産業建設委員会</p> <p>委員長 三宅 一典</p> <p>委員 広畑 耕一</p> <p>委員 渚 洋一（副議長）</p>
参加人数	29人		
内 容	<p><総務文教委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉野商工高等学校 機械科新設について ・たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）について ・公民館及び市民センターの機能集約化について ・持続可能な公共交通網の構築に向けた検討について <p><厚生委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理の広域化について ・介護保険事業計画について ・玉野市民病院の状況について ・がん対策推進条例の策定について <p><産業建設委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣対策について ・ローカルブランディングの研究開発について ・競輪事業について ・道の駅みやま公園直売所について <p>各会場において、各常任委員会（総務文教委員会、厚生委員会、産業建設委員会）の委員長が委員会での協議内容等の報告を行った後、市民と議会との意見交換（質疑応答等）を実施した。</p>		

開催日時	平成30年5月22日(火) 18時30分～20時10分
開催場所	生涯学習センター
意見・要望等 と回答の概要	<p>(市民) 奥玉で問題になっているのはイノシシです。イノシシは柵をしても穴をあける。予算をかけて柵を広げるよりもパトロール等を充実してほしい。また、農林の担当者が不在で連絡が取りにくい。</p> <p>(議員) 有害鳥獣に関しては、正規職員1名、臨時職員2名で対応している。市内中で柵の設置が進んでいる。職員数が限られている中ではあるが、柵のパトロールについては、市と協議を行い地域と連携して行えるように協議する。 農林水産課への連絡について、担当者が外に出ている連携を図りながら連絡が取れる体制に努めたい。</p> <p>(市民) 直島行きの観光客が増えている。観光の通過型から着地型へということだが、直島へいく外国人を市内にとどめる簡易な宿の検討など考えを伺いたい。</p> <p>(議員) 宇野港に三井の関連会社が簡易なトレーラーハウス5棟の宿泊施設を設置している。今後、民泊等の議論を進めたり、空き家を活用するなどして、連泊ができるような検討をしていきたい。 また、宇野港土地がたまの湯近辺にも宿泊施設を考えているというふう聞いた。</p> <p>(市民) 公共施設の施設利用料の改定について、どのような形で決めたのか。若い人の意見を聞く、アンケート調査をするなどいろいろな方法で意見を吸い上げてほしい。 また、市民病院についての状況は。</p> <p>(議員) 施設利用料については、委員会で相当細かく議論を行い決めた。値上げをする場合でも1.5倍以内を上限として、適正な金額を協議した。議会でも市民の意見を聞く場を設けようということだという思いがある。今後とも、市民の声を聞きながら慎重に議論をしていきたい。</p> <p>(議員) 市民病院については、あり方検討部会を開いて議論した。今は市民病院を残していることいろいろ協議をしている。8月ぐらいには、皆様方にこういったことを考えていると示すことができると思っている。民間であれば儲からなければやめれば良いと言う話もあるが、市内には小児科の入院施設がない。産科もほぼ市内になくなっている。これから病院をつくっていくにあたり、どのような機能を持たせるのか議論になっている。新しい病院は病床数をいくつかにするかなど詰めているところである。</p> <p>(市民) 自主防災を担当している。巨大地震が来た際、ミネルバや日比小など避難施設となっているが、避難所に何人ぐらい避難すると想定しているのか。危機管理課で想定していないんでしょうかね。避難所で生活するとしたら何が一番大事か、どう考えるか。また、避難所に必要な物などの協議は行っているのか。</p> <p>(議員) 避難所については、公共施設を3つに分類し対応している。避難所は1もしくは2に入っている。十分な施設管理をしていくと定義づけている。 私は地元ではないので、ここで何名想定しているか把握していないんですが……。今の割合の感じで行くと、3分の1か半分でしょうかね、準備はしているのはしてるが、十分なところまで行っていないのが現状と思う。 避難所に必要な物についての協議は行っているが、財政が厳しい状況であるためできるだけやっていっている。</p>

(市民) できるだけくせものだ。具体的な目標をたててやらないといけない。さまざまな情報を教えてほしいと思う。

(市民) 2025年問題に向けて、それぞれ計画をたてて、地域で地区社協やボランティアセンターを立ち上げ、地域において助け合いのもとに生活を送るように方針が打ち出されているが、その立ち上げや運営には費用がかかることから、議会においてはどのような議論がなされ、どのような方針を打ち出しているのか伺いたい。

(議員) 本市の財政が非常に厳しい中で、いろいろ削減しているところ、地域包括ケアシステムについても社協にいろいろお願いしているところです。地区社協をどのように進めていくか、委員会のなかでも設置に向けたことについて話しをしていきたい。

準備資金として50万円、運営費として30万円の補助をしているが、なかなかまかないきれないと思うので、検討させてください。

(市民) 昭和47年ごろにかけて、市の重要な施設の多くが建設されており、今後公共施設についてどのような方針を打ち出しているのか。指定管理者への移行の話もでていますが、何年ぐらいからと考えているのか。

(議員) 市当局の提案では、現在9つある市民センターを集約する、そして公民館については築60年を経過したものから、順次地区へ委譲する、受けてくれない場合は学校施設を利用いただく、とした案が出されている。議会としては、マイナンバーカードが普及していない、高齢者が増える中、こうしたことは難しいのではないかとといったところである。玉市民センターは9年後、あとは17、18年後ということになる。議会としては慎重に議論をしているところである。

(市民) 公共施設の再編整備の中で、例えば玉市民センター奥玉分館を閉鎖することとなれば、同じ奥玉地区にある「すこやかセンター」の利用者が混雑することが予想されるため、配慮願いたい。

(議員) 玉市民センター奥玉分館については今回計画の中には入っていないが、意見として伺っておく。

(市民) 学校給食センターの新築移転と、市民会館の建て替えについての進捗状況と、その優先順位について伺いたい。

(議員) 公共施設の再編整備の今後の優先順位としては、1番に市民病院、2番に給食センターと考えており、それぞれ厚生委員会、総務文教委員会において、細かい議論を進めている。

市民会館については、先日空調モーターから煙がでる事故があったが、現在原因の究明中である。市民会館の今後の方向性については、建設から60年を迎える平成31年度中に方針を出すこととしているが、現在のところ、具体的な協議には至っていない。

また、平成23年に開催した諮問委員会において、本市には、文化ホールを備えた複合施設が必要との意見があったが、旧文化センターが既にメルカ内に移転したこともあり、市民会館単独で改めて検討が必要である。

給食センターについては、第一建設候補地として、競輪場上の空き地を検討している。しかし、地目の変更だけでも1年から1年半かかるので、4年後くらいかなと。

給食センターについては老朽化しているのは理解しており、細かく議論している最中です。

(市民) 玉野市のような自治体は、全国、中国地方にも存在すると思われるが、そうした自治体に対して議員が視察して分析を行ったり勉強したりしているのか。

(議員) 各常任委員会において行政視察を行う際、潤沢な予算のある大規模都市へ視察に行っても勉強にならないため、人口が6万人前後の自治体で、斬新的な特色ある施策を行っている先進地に出向き、本市においても取り組むことが可能な施策について、研究をしている。

お金をかけることなく、市民が幸せになれるように、議員は365日アンテナをはっている。どことも小さなまちが厳しい財政の中疲弊しており、一生懸命生きていくための知恵を絞っている。井の中の蛙とならないよう、外の世界の情報収集を怠らず、頑張ってもらいたい。

(市民) 「通過型」から脱却し、「滞在型」に向けた取り組みがなされているが、議員のみなさんは、市内のどこへ連れて行くのか？

涉川や深山公園といっても、特に面白くもなく、市内には飲食するところもない。東京や大阪といった観光地に出向く際、計画(プラン)を立てるが、玉野市ならどういう観光コースを予定しているのか？先日、暑い中、おそらく深山公園を散策した帰りの外国人観光客がループ橋を歩いて下っていたが、それをみてとても気の毒に感じた。

(議員) 瀬戸内国際芸術祭の開催時には100万人、また通常期でも10万人の観光客が訪れている。どのように滞在していただけるか、(株)JTBと研究している。私なら王子が岳やみやま公園へお連れする。しかし、インターネット等で旅行先として本市を探し当てて来られた観光客に対して、本市の魅力をどうPRするか、今後検討が必要である。

一方、近年、特にヨーロッパから玉野市をはじめ岡山県へ多くの観光客が来られており、瀬戸内の風景を地中海と同様に感じていただいている。今後も、直島へ渡る通過点から、着地型を目指して取り組んでいきたい。

(市民) 王子が岳へ案内する際の交通手段はあるのか？

(議員) タクシーで行かれる方や、サイクリングで行かれる方もいるのではなかろうか。

(市民) タクシーだと費用が掛かりすぎる。市が送迎バスなどを走らせる考えはないのか。

(議員) 現段階では考えていないが、今後いろんな形を研究してもらいたい。

(市民) 外国人の方は徒歩や自転車は苦痛に感じない面があるので、サイクリングを普及させてもいいのでは。

(議員) 貴重なご意見をありがとうございます。

議会報告会報告書

開催日時	平成30年5月22日（火） 18時30分～20時20分		
開催場所	荘内市民センター 大会議室		
出席議員	<p style="text-align: center;">総務文教委員会</p> 副委員長 大月 博光 委 員 松田 達雄 委 員 河崎 美都 委 員 赤松 通博	<p style="text-align: center;">厚生委員会</p> 副委員長 西淵 大助 委 員 藤原 行照 委 員 山本 育子	<p style="text-align: center;">産業建設委員会</p> 副委員長 伊達 正晃 委 員 小泉 馨 委 員 氏家 勉（議長）
参加人数	20人		
内 容	<p><総務文教委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉野商工高等学校 機械科新設について ・たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）について ・公民館及び市民センターの機能集約化について ・持続可能な公共交通網の構築に向けた検討について <p><厚生委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理の広域化について ・介護保険事業計画について ・玉野市民病院の状況について ・がん対策推進条例の策定について <p><産業建設委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣対策について ・ローカルブランディングの研究開発について ・競輪事業について ・道の駅みやま公園直売所について <p style="text-align: center;">各会場において、各常任委員会（総務文教委員会、厚生委員会、産業建設委員会）の副委員長が委員会での協議内容等の報告を行った後、市民と議会との意見交換（質疑応答等）を実施した。</p>		

開催日時	平成30年5月22日（火） 18時30分～20時20分
開催場所	荘内市民センター 大会議室
意見・要望等 と回答の概要	<p>(市民) イノシシを捕獲するのに、家から何メートル以上離れていないといけないなど規制がある。箱形のわなはどこにかけてもいいようにしてほしい。個人のわなを許可してほしい。イノシシを捕獲した際に玉野市ではイノシシを買ってくれないが買ってほしい。電気柵は危険なのでやめるべき。イノシシは夏は肥料、冬は食肉にしているところもある。</p> <p>(議員) イノシシ捕獲については猟友会・駆除班には奨励金を出している。電気柵については感電死しない柵になっていることを確認している。イノシシ肉については業者が食肉加工している。肥料についても、七区でやっている。わなをかけるには資格がいる。わなの規制については、国の方針で決まっており、何m家から離すと決まっている。</p> <p>(市民) 県北の方では家の近くにわながあるのを確認した。</p> <p>(議員) それについては勉強させてもらうが、国で決めているので、市単独でやるのは難しいと考える。</p> <p>(市民) 3点言います。1点目、岡山市等との合併を勧めるべき。財政難の突破口ともなる。1年間程度でいいので、あり方検討委員会を開いてほしい。</p> <p>2点目、メルカの建物の基礎構造について、安全性を確認してほしい。根拠のある証明を市民に知らしめてほしい。公共の建物である以上必要だ。今説明されているのは宇野港土地から出ている書類だけだ。</p> <p>3点目、学校の通学路と、倉敷、岡山、市外へ続く道路（渋川など）などに防犯カメラを設置してほしい。</p> <p>(議員) メルカの耐震化、安全性について議論してきた。法的な基準でいうならばクリアしている。とはいえ、利用者の安全安心は大事。委員会でも議論は進めていきたい。耐震、構造上の問題では法的に問題ないと聞いている。</p> <p>(議員) 耐震、安全性はしっかりと話をしている。昭和56年の耐震基準はクリアしている。平成16年の水害の際のことが大丈夫なのか、そういった意見も出ている。市民の安全安心が大事。こうした声があるということを踏まえて意見を述べていきたい。</p> <p>(議員) 防犯カメラについて、協議をして学校の出入口、駅周辺にはついている。他の場所にはまだまだ設置されていないと思うので、市民のみなさん、子どもたちの安全をも守るため、今後の協議事項とさせてほしい。</p> <p>(議員) 合併については、黒田市長の選挙のときの方針などで合併せず単独で行くという考えでいく方向になっている。議運でも合併についても話が出ていない。今協議されているのは、行財政改革を進め、市単独でやっていけるよう考えているところ。</p> <p>(市民) 人口が減っている。市外に出る理由は何だろうと考えると、市民病院に産婦人科がないからだと思う。子どもが産めない。</p> <p>(議員) 議会内でも産婦人科は必要と考えている。現状としては、医師の派遣の問題がある。こうした声があるということを当局に伝え、議会としても実現に向けてどのようなことができるか検討したい。</p>

(市民) 老朽化した市民会館の運営をどのように考えるか。建て替え時期を過ぎている。

(議員) 市としては築60年を限度に、市民会館を平成31年度に供用廃止するという方針を出している。現状としてこれにかわるものがない場合は60年をすぎても、安全性を確保した上で使うという可能性はあると思う。議会では複合施設案もあったが、現状では文化センターがメルカに移転したこともあり、市としては方向性が定まっていない。5万人を超える市に市民ホールは必要という声もある。今後市長部局と協議していく。

(市民) 公共施設について、老朽化が進んで大変だ。なぜここまでの状況になったのか。全国的にそのようだ。市民の暮らしを守ることをしっかりとしてほしい。私は学校に勤務していたので給食センターが重要と考える。特に給食センターについては食の安全ということもあり公設公営でやってほしい。民間だと利益があがらないとだめでしょうから心配だ。子どもたちの命の問題と考える。

病院については指定管理者制度を導入すると聞いたが、現状をお聞きしたい。

図書館と公民館との融合には当初から反対していた。建物は別にしてくれと思っていた。図書館、公民館はそれぞれ役割がある。ホールでの催し物開催時、本を読むのにうるさいときがある。

鴨川付近の通学路が崩れているところがある。

(議員) 給食センターの運営については、公設公営、公設民営、民設民営、それぞれ今議論している真っ最中である。コンサルタントに委託をしながら、建物の環境整備がどうなのかということが先行しているが、他市の状況を参考にしながら、中身についてもこれから議論を深めていく。

(議員) 病院の指定管理者制度についてですが、当初、市当局は指定管理者制度を目指して動いてましたが、現状ではまだどのような方法でやっていくのか決まっていない。どういった運営方法でも長所、短所があるので新しい病院の望むべき姿がどういったものか、議会、委員会でも議論していく。入院患者数の受け入れも増えており、市民の皆様にも愛される市民病院であるように努力していきたい。

(議員) 鴨川の件、県管轄ということで県に要望していく。危ないところからやっていく。

(市民) 市議会だよりで見て初めて来た。たくさん資料があるので、早めに資料が見たかったと思う。宇野まで行かなくてもすむように、市民センターをフルに活用してほしい。図書室があるがだれも利用していない。週に3日、昼からしか開けていない。常時開けてもらって自習室でも使えるようにしてほしい。図書館の本をここで借りて返せるようにしてほしい。

また、近くの農免道に車の往来が多くて、散歩するのに困っている人がいる。

(議員) 公民館の図書室が利用されていないのが実情。岡山市はより充実させようとしている。やらなければいけない課題だ。こうした声を聞くのでしっかり充実を図れるようにしたい。

(議員) 市民センターと図書館の本の入れ替えは今現在も循環でしている。見たい本があれば、メルカの図書館から取り寄せるとかをやっているのご利用いただきたい。

(市民) うまくいっていないようだ。

議会報告会報告書

開催日時	平成30年5月23日（水） 18時30分～20時30分		
開催場所	文化センター		
出席議員	<p style="text-align: center;">総務文教委員会</p> <p>委員長 高原 良一</p> <p>委員 浜 秋太郎</p> <p>委員 河崎 美都</p>	<p style="text-align: center;">厚生委員会</p> <p>委員長 有元 純一</p> <p>委員 宇野 俊市</p> <p>委員 三宅 宅三</p> <p>委員 藤原 仁子</p>	<p style="text-align: center;">産業建設委員会</p> <p>副委員長 伊達 正晃</p> <p>委員 氏家 勉（議長）</p> <p>委員 広畑 耕一</p>
参加人数	44人		
内容	<p><総務文教委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉野商工高等学校 機械科新設について ・たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）について ・公民館及び市民センターの機能集約化について ・持続可能な公共交通網の構築に向けた検討について <p><厚生委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理の広域化について ・介護保険事業計画について ・玉野市民病院の状況について ・がん対策推進条例の策定について <p><産業建設委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣対策について ・ローカルブランディングの研究開発について ・競輪事業について ・道の駅みやま公園直売所について <p>各会場において、各常任委員会（総務文教委員会、厚生委員会、産業建設委員会）の委員長、副委員長が委員会での協議内容等の報告を行った後、市民と議会との意見交換（質疑応答等）を実施した。</p>		

開催日時	平成30年5月23日（水） 18時30分～20時30分
開催場所	文化センター
意見・要望等 と回答の概要	<p>（市民） 市議会の活動状況の資料がついていた。各個人の議員さんは普段どのような活動をしているのか。年間を通してどのような活動をしているというようなものがありますか。状況がわかる手立てがあれば教えていただきたい。ブログとかで活動状況をだしている人もおり、1年間どんなことをしているのか知りたいし、発表するべきだ。</p> <p>（議員） 議員20名いるのでそれぞれ違うとは思いますが、市役所での議会活動のほかに、市役所で行う議会活動のほかに、各地域の要望を聞くなどの地域活動を行っている。大まかに言うと議会がないときには地域の活動を行っている。各議員で、議会報告などは実施されていると思う。各自の報告をより積極的にやっていくことについては、各議員の活動報告などは、持ちかえり協議を行う。</p> <p>（市民） 昨日荘内市民センターでも話をしたが、市にとって必要だと思いますのでまいりました。市議会だよりも、ぜひこの3つの案件をですね、こういう話しがあったぞというだけで結構ですので、市民全体に知らしめていただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 岡山市と倉敷市などと合併を勧めるべき。財政難を払拭するには、合併しかないと思う。商業高校でもやったようだが、あり方検討委員会をつくってそういう話をしてほしい。そこでメリット、デメリットを話してほしい。 2. メルカの建物の基礎構造について、1級建築士による安全確認をしてほしい。市長も議会ですらそういう発言をしている。根拠のある証明を知らしめてほしい。今説明されているのは、宇野港土地から出ている書類だけだが。 3. 学校の通学路と、市外へ続く道路（渋川）などに防犯カメラを設置してほしい。 <p>（議員） 合併に関しては、協議会等について持ちかえり議会の中で協議をして進めていきたいと思うが、岡山・倉敷どっちなのか、以前は岡山と任意協議会が設けられて、法定協議会の段階で玉野市は独自でやりましょうという結果で今現在に至っている。そのあたりも含めて議会内で協議させていただければと思います。</p> <p>（市民） 市民が主権ですから、市民のあり方検討委員会を市役所の中につくらせていただいて、検討いただきたい。議会だけで単独で決めるのではなく、市民主権のもと、委員会を発足してほしい。</p> <p>（議員） メルカの建物の耐震について、新しい耐震基準については大丈夫ということなんですけど、平成16年に浸水したのが大丈夫かということだと思います。一昨年に一般質問がでて、浸水したその後のことについて耐震の検査をするべきだと言うこともできて、宇野港土地にその旨の依頼をして、宇野港土地から耐震の結果報告があったということで、どこがしたのか明らかにせよという議員さんもいますが、そのところは表明されておきませんが、委員会全体としては、出てきたのであるから、概ね了承としている。</p> <p>しかしまた、みなさんにお諮りをしながら、メルカでこういうご意見をいただいたので、また協議していきたい。</p> <p>防犯カメラについて、地域として寄付をするからなんとかならないかなどという話しもある。市としても、一度には難しいが、国県の補助制度を活用するなどして、少しずつでも設置に向けて進めていきたい。</p> <p>（市民） 防犯カメラについては納得した。宇野港土地からでた文書は、根拠がない。その文書で議員が納得しては困る。市民としては納得いかない。こんな文書ではだめだと宇野港土地に言ってほしい。そういう検査をするよう求めてほしい。市長も議会で言っている。</p>

(市民) 玉野市のごみ処理はありがたい。回数も多いし。ごみ処理の広域化を行い、岡山市とかといっしょになるとサービスが低下するのではないかな。

(議員) 今回の広域化は可燃ごみが対象である。不燃、リサイクルは玉野市でやっていく。可燃ごみについては量が多いと市から持ち出しのお金が発生するので、可燃ごみを減らすようお願いをしたい。皆さん方の負担にならないようにしたい。県内で無料なのは倉敷、高梁、玉野です。

これから受益者負担、有料化の議論となるかもしれませんが、皆さんといっしょになってごみの排出量を抑える努力をしていきたい。

(市民) 議員の定数を15ぐらいにしたらどうか。議員で発言しない人がいるのはなぜか。市役所で結果を出す取り組みをしてほしい。(四半期ごとに結果をだすとか) 人口減少問題に関して、外国人を入れたらどうか。ベットタウン化を図ってはどうか。企業誘致をもっと行ってはどうか。直島と玉野市が一緒になってはどうか。直島に橋をつけて。玉野市の高齢化率はどの程度か。老人をどのように誘導していくのか知りたい。市の財政に関して、収入があげられる方法を考えてほしい。税金等の回収率を教えてください。イノシシに関して、柵や銃の免許取得条件を緩和してはどうか。議会報告のなかで、職員の発言が検討しますや目指しますなど回答が多いが、期限を区切ってほしいと思うが。

(議員) 人口減少については、生涯活躍のまちや移住定住の取組みを政策として行っている。併せて、企業誘致も進めていきたい。

外国人の受入については、国の施策ではあるが、協議をしていく。

市の財政については、財政健全化の取り組んでいるところである。支出についても厳しく見ながら、事業見直しや公共施設の利用料金の値上げなど細かいところも協議を行っている。

税金の収納率については、95%程度となっている。広報たまのにも掲載している。

議会だよりについては、「検討する」というような表現があることについてだが、今すぐできないことについて当局が「検討」とかいうが、次の議会だよりまでその内容をのせるかどうかということなど、編集委員会で協議していきたい。

(議員) 高齢化率は36.7%である。市内でも地域によって多少違う。出生率の低下も問題である。国保の収納率は93%ぐらい。

(議員) 議員定数については、県下の状況や近隣の同程度の市と比べて、玉野市は突出して議員定数を減らしてきた。今回も1減らした。今後、人口推移などをみて検討していきたい。

イノシシ対策の狩猟や罟の免許については、国や県の法律に基づいているため、単市ではどうすることもできないが、市として補助を出しているため、免許の取得数値は増えている。まずはイノシシの個体数を減らすことを目指したい。

(市民) ごみの広域化について、玉野に決定したら、岡山・久米南のごみが玉野にくることになる。公害問題が懸念されるが、建設される地域、関係地域全体へ説明・告知はどのようにするのか。

岡山の北になったら、遠くまで運ぶことになるが交通の問題が発生すると思う。

がん対策について、地域の環境に合わせて対応を考えていただきたい。

(議員) ごみ処理施設の候補地については、7月には示すことができる。決まった候補地で環境アセスメントを調べることになる。交通問題もある。また、どこのごみをどこへ運ぶかの議論が必要となってくる。普通に考えれば人口の多い岡山の近くに出来るように思うが、が、

玉野市としては、運搬する距離が近いほうが良い。ダイオキシンについては規制が厳しくなっている。新しい建物ではそうしたところにも対応する。

がんについてはどういうがんが多いか。特定健診の受診率が悪いのでどうにかしないとけない。病気になると保険料が上がることにつながる。

(市民) 市役所に要望しても解決しない。道路の冠水、ごみ処理など。近くの人に相談すると議員に言うべきだ、と言われた。議員への要望など一本化した窓口はないのか。

CCRseaなどわけのわからないことはやめてほしい。移住制度というのがあるが、効果がないのでやめた方がいい。現在住んでいる住民にお金を使うべきでは。

(議員) 地元の議員に言う方法もあるが、細かい状況を所管課へご相談いただくことがまず一番と思う。町内でまとめるなどして担当課へ要望を上げていただきたい。

(議員) CCRseaについては、我々がはじめに聞いたときにそう感じた。この事業には国の補助が入ることもあり、現在玉野市が行ってる事業を取り込みながら推進したい。こういうご意見があったことは受け止める。

(市民) 深山公園の農薬散布が行われる。生態系に影響を与えると思う。虫の駆除など効果があるのか。また、人体に影響はないのか。

(議員) 効果はあると思っている。とはいえ、すべての松が助かる訳ではない。枯れる場合もある。薬剤が人体におよぼす影響など、委員会で研究をして、効果がないのなら、違う方法を協議する。

(市民) 向日比はごみに関して、10何年前にモデル地区として取り組んできた。なんのためにやってきたのか。きちんと分別したらごみは半分ぐらいになる。よその地区は分別せず捨てている。私たちは長年なにをやってきたのか。びんは3種類あるので分別するが、業者は全部一緒に回収する。しっかりと考えてほしい。

(議員) 分別は重要。和田の処分場でつぶして業者が持って帰るが、いろいろ混ざると後に困る。厚生委員会としても調べてみたい。環境衛生協議会での美化推進委員にも相談していただきたい。厚生委員会としても実態を調べる。

議 会 報 告 会 報 告 書

開催日時	平成30年5月23日（水） 18時30分～20時00分		
開催場所	山田市民センター		
出席議員	<p style="text-align: center;">総務文教委員会</p> 副委員長 大月 博光 委 員 松田 達雄 委 員 北野 良介 委 員 赤松 通博	<p style="text-align: center;">厚生委員会</p> 副委員長 西淵 大助 委 員 藤原 行照 委 員 山本 育子	<p style="text-align: center;">産業建設委員会</p> 委 員 長 三宅 一典 委 員 小泉 馨 委 員 渚 洋一（副議長）
参加人数	20人		
内 容	<p><総務文教委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉野商工高等学校 機械科新設について ・玉野版生涯活躍のまち（CCRsea）について ・公民館及び市民センターの機能集約化について ・持続可能な公共交通網の構築に向けた検討について <p><厚生委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理の広域化について ・介護保険事業計画について ・玉野市民病院の状況について ・がん対策推進条例の策定について <p><産業建設委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣対策について ・ローカルブランディングの研究開発について ・競輪事業について ・道の駅みやま公園直売所について <p style="text-align: center;">各会場において、各常任委員会（総務文教委員会、厚生委員会、産業建設委員会）の委員長、副委員長が委員会での協議内容等の報告を行った後、市民と議会との意見交換（質疑応答等）を実施した。</p>		

開催日時	平成30年5月23日（水） 18時30分～20時00分
開催場所	山田市民センター
意見・要望等 と回答の概要	<p>（市民） ローカルブランディングの研究開発について。昨年度の実施事業でポテンシャルの調査とは具体的にどんな調査をしているのか。今年度の実施予定の中で、着地型観光商品の開発をするとのことだが具体的に教えてほしい。</p> <p>（議員） 世界から玉野市を見たときにどういったところに魅力があるのか、調査をした。ワークショップの開催や、大阪、東京での玉野市の認知度がどうかという調査をした。玉野の魅力といえば、海を活かして、瀬戸内を活かして、こうしたことをどのような形で世界に伝えるのか。その一つとして海洋療法、温泉療法など健康増進のことがあげられた。高齢化が進んでいる中で、自分の人生をどう生きるか、そして生きがいを見いだすためにも健康であることの重要性が高まっており、本市でできる健康増進プログラムをつくっていききたいと考えている。今後は深く市場調査をし、モニターツアーを進めていく。</p> <p>渋川にはジコにも来ていただいたが、渋川はオリンピックの練習地になるかもしれない。こうした渋川の魅力も伝えたい。都会とは違う体験型コンテンツを作りあげたい。玉野版の健康食の開発もしていきたい。</p> <p>（市民） ジコが来たのはびっくりした。オリンピックの練習地の招聘が出来ればすごいと思う。ポテンシャルの件で、専門業者の発見した玉野の隠れた魅力、観光資源について、事例があれば教えてほしい。</p> <p>（議員） 王子が岳の奇岩、クライミングは世界的に見ても有数だと聞いた。渋川海岸でのヨガ体験をしながら瀬戸大橋を見る、夕日も素晴らしいと言われている。</p> <p>（市民） 出崎海岸の状況は、宿泊施設がない。外国人観光客が増える中、玉野市と直島町と連携してほしい。</p> <p>（議員） 出崎海岸については、両備が購入し管理している。宿泊施設については、議会でも議論している。先日、宇野港土地に聞いたところ、来年は旅館のようなものを考えたいと言っていた。産業振興ビルの裏の駐車場についても活用したいということで、簡易なトレーラーハウスをもって泊まれるようになったところである。</p> <p>市内での空き屋も多くなっており、法令にきちんと従った中で民泊を進めていけば、という働きかけもしないといけないと思っている。</p> <p>（市民） 学校について。山田小学校生徒数の見通しについてお話しいただきたい。また、学校の開放についてですが、山田の地域を見て、子どもたちが遊ぶところがほとんどない。宇野のほうは公園があるが山田にはない。となれば、学校を開放して、遊び場を提供してはどうか。学校を開放したときには問題があるかもしれないが、子どもをすくすくと育てるため考えてほしい。</p> <p>（議員） 人数の推移ですが、市内全域では出生数は約300人／年。出生数は田井、荘内地区が多く、他地域は減少していて、出生数から見ると山田地区も（児童が）減っていくのは確実と推計している。</p> <p>子どもの遊び場ですが、荘内の小学校等では開放されている中で、児童公園などは子どもが遊んでいない中で、時代に合った遊び場はなにかということが議論にあがっている。老若男女が集えるのは小学校、中学校という考えもある。公共施設の考えから行きますとも、公民館についてもそちらのほうへ代替していききたいという方針も出たりしている。子どもが安心して遊べる環境をつくっていかねばならない。持ち帰って提供させていただきたい。</p>

(議員) 委員会では、全体の人数の把握はしている。保育園などはちどり保育園など民間のほうへ行っているケースもあり、将来山田小学校に何人くるかという話はでていない。今後、小学校人数の推移を調べるよう教育委員会に要望する。学校開放について、夜のママさんバレーなどはやっている。市民センターについて協議されていくなかで、学校の活用についても話が出る。

(市民) 白石入り口のバス停、細い川が流れているが、雨が降ると道路が水浸しになる。そのためポンプ場を設置してくれた。多少は対応出来るようになった。ただ、草などが流れてくるので、草を取るのが大変。ポンプ管理の人に草を取るのをお願いしていたが、腰を痛めてとれなくなりそう。どうしたものかと考えている。また、草を入れる大きい入れ物がほしい。

(議員) 農林水産課、土木指導員と連携して現場を見せてもらう。近々農林水産課が行くと思うのでよろしくお願いします。

(市民) この4月に農林水産の説明会があった。上山田→八浜の路線、二子池と寸瀬池がある。土手が県道に面している。県道は利用が多い。草刈り機で草を刈っているが、万が一車に石が当たったらと思い、農林に言ったらガードマンをつけて、片側通行での対応となった。草刈りを業者に任せるか、全面通行止めにするかなどしてほしい。対処は可能かどうか。

今回の資料には地域の雇用の拡大とか地場産業の育成が全く書いていない。高校、大学で玉野市に就職するということが見えない。地場産業育成などを謳っていただければと思います。

(議員) ご意見をお伺いしながら、じっくりと農林と話してみる。

主だったことしか書いていないということもあるが、雇用の拡大は重要。少子化に歯止めがきかないなかで、商業高校の定員割ということがあり、廃校になりかねない。だからこそ、地域産業を育成し、みなさんに玉野市に住んでいただいて、雇用をしていただきたいということで商工高校に機械科をつくった。三井造船、三井金属、ナイカイ塩業、北興化学、トンボ、各中小企業のみなさんがたにもがんばっていただき、我々の子どもや孫が地元で就職できるような雇用体制が必要だと考えている。

(議員) 市内企業でも市外の工業科を出た生徒が来ないということで、長年の要望があり機械科をつくったということもある。市外の工業科へ行く生徒もいるなか、そうした生徒の地元定着も考えている。機械科をつくっただけでなく、インターンシップなども開催している。

(市民) 移住・定住対策として、市の職員、関連団体、三井造船などの採用にあたり、玉野市出身者枠をつくってほしい。災害があったときにつけられるのは地元の人間だ。

(議員) 地元の方が働く場所をと言うことも含めて機械科を新設した。地元で働くという部分を含めて、CCR seaの推進は地元の郷土愛をはぐくむ、またもう一度玉野の魅力を我々住民が知っていく、見直すというを狙っている。若い子が玉野に愛着を持つまちづくりを進めるため知恵を出す。

(議員) 三井造船では一定の枠をすでに採用している。

(市民) 全国的にそうだが、シングルマザー、シングルファーザーなどが増える中、学童保育の利用が進み、子どもを親が迎えに来ている。しかし、遅くに親が迎えに来ても、まだ夕食が出来ていない。そんななか、ここの施設を使って第三者的な人が夕食をつくっていただいてここを開放してくれていると、親の負担も少ない、子どもも待たずに食事が食べれる。週に何回かしていただくと、玉野市では子育てがしやすい、地域で子どもたちを見守っているという

ことで、子育て支援になる。玉野市は老人にはお金を出しているが、子どもには出していないと思う。子どもに手厚いことを望む。

(議員) 全国的にも要望がある。そうしたこども食堂については、行政が先頭を切って進めるもの、民間NPOが先行して進めたものを支援するなどやっている。議員のなかでもそうした取り組みをするべきという声もある。しっかりと答えていきたい。